

2021年度 学校関係者評価委員会 報告書

12月初旬に保護者へのアンケート、2月に教職員の自己評価を基に、3月に学校関係者評価委員会を行ったことをご報告させていただきます。

《学校関係者評価委員会で頂いた声》

○全般について

- ・ アンケートによる園評価の結果はとても良いが、全員が提出されていない学年もある為、未提出の理由の分析が必要と思われる。
- ・ 現状分析と今後の課題も検討されている為、実行されれば、より良い園となるのではないかと。
- ・ 教職員の意識の高さが感じられ、子どもたちへの対応も丁寧で愛情を感じる。
- ・ コロナ禍の中でも子どもたちの為に工夫され、子どもたちが色々な体験をさせて頂いていることに感謝している。
- ・ 縦割り保育、同年齢の横割り保育の良さをこれからも生かして行ってほしい。
- ・ 今後も“小野田小百合幼稚園”らしさを大切に、子どもを教育してほしい。併せて保護者も教育してほしい。

○環境について

- ・ 園庭の植物、野菜の栽培をはじめ、子どもたちの興味点に合わせ、ワクワクするような環境が準備されている。

○子育て支援について

- ・ アンケートから子育て支援の機能をこれまで以上に求めている保護者が多い。未就園児クラスについては、利用料金も見直され、保護者のニーズに応えていけると期待している。預かり保育については、保育を必要としない子どもたちの利用の幅も増えると、子育て支援の充実に繋がると思われる。

○カトリック園として

- ・ カトリック園として、祈りや聖堂の利用等は、良くされていると思われるが、これからはっきり特徴を出していくことが、私立幼稚園ができる強みになると思われる。
- ・ 東日本大震災の日に各クラスで地震についての話を聞き、お祈りをしたり、ウクライナの人々の為に、平和への祈りをしたり、幼いながらに命について学び、考える機会を与えて頂いていることは素晴らしいと思う。

○保護者へのマチコミアプリを利用した配信について

- ・ マチコミアプリのタイムラインを利用した、子どもたちの日々の生活や活動の様子等の写真付きの報告があり、園での様子が伝わり、よく分かるようになった。また、子どもとの会話も弾むので、ぜひ継続してほしい。
- ・ 紙媒体のお知らせに加え、マチコミアプリでの連絡事項の活用により、分かりやすくなった。

～更によりより幼稚園づくりをしていくための今後の課題～

- ・ 昨年度は、コロナ禍の中で、行事の中止、保護者人数の制限等により教職員と保護者間のコミュニケーション、保護者同士のコミュニケーション不足を不安視する声が多く上がっていたが、今年度は新しい生活様式にも慣れ、保護者理解も深まってきたようであり、そのような声は聞かれなくなった。時代に沿ったICT技術も活用しながら、①園や子どもたちの活動を知ってもらうこと ②園の教育方針に理解を深めてもらうこと ③コミュニケーションを図ること に重点を置いて行きたい。
- ・ 子どもたちの成長の喜びを保護者と共に分かち合い、保護者と共に、子どもから学ぶ姿勢を大切にしていく。
- ・ 子どもたちに、もっと自然に触れる機会、五感を使った活動の場を増やし、ワクワク生き生きとした園生活が送れるよう、教職員の瞳も輝かせ、保育環境の充実を図っていく。

～今後の検討事項～

- ・ 園児の入園の動きと教育方針を含めた園との関係、園評価は高いが、実際に入園に結びついていない理由について今後分析。
- ・ 緊急時の連絡に関して、マチコミアプリだけでは直ぐに確認できない保護者もいる為、緊急時連絡方法について検討。

子どもたちが安心して、ワクワク生き生きと生活できる場を築いていくことができるよう、また、コロナ禍ではあるが、園と保護者、園と子どものコミュニケーションが希薄にならないよう、工夫していくことができるように、今後も職員一同努めていきたいと思っております。